

1 新たに展開する重要事項

1 第5次長期計画について

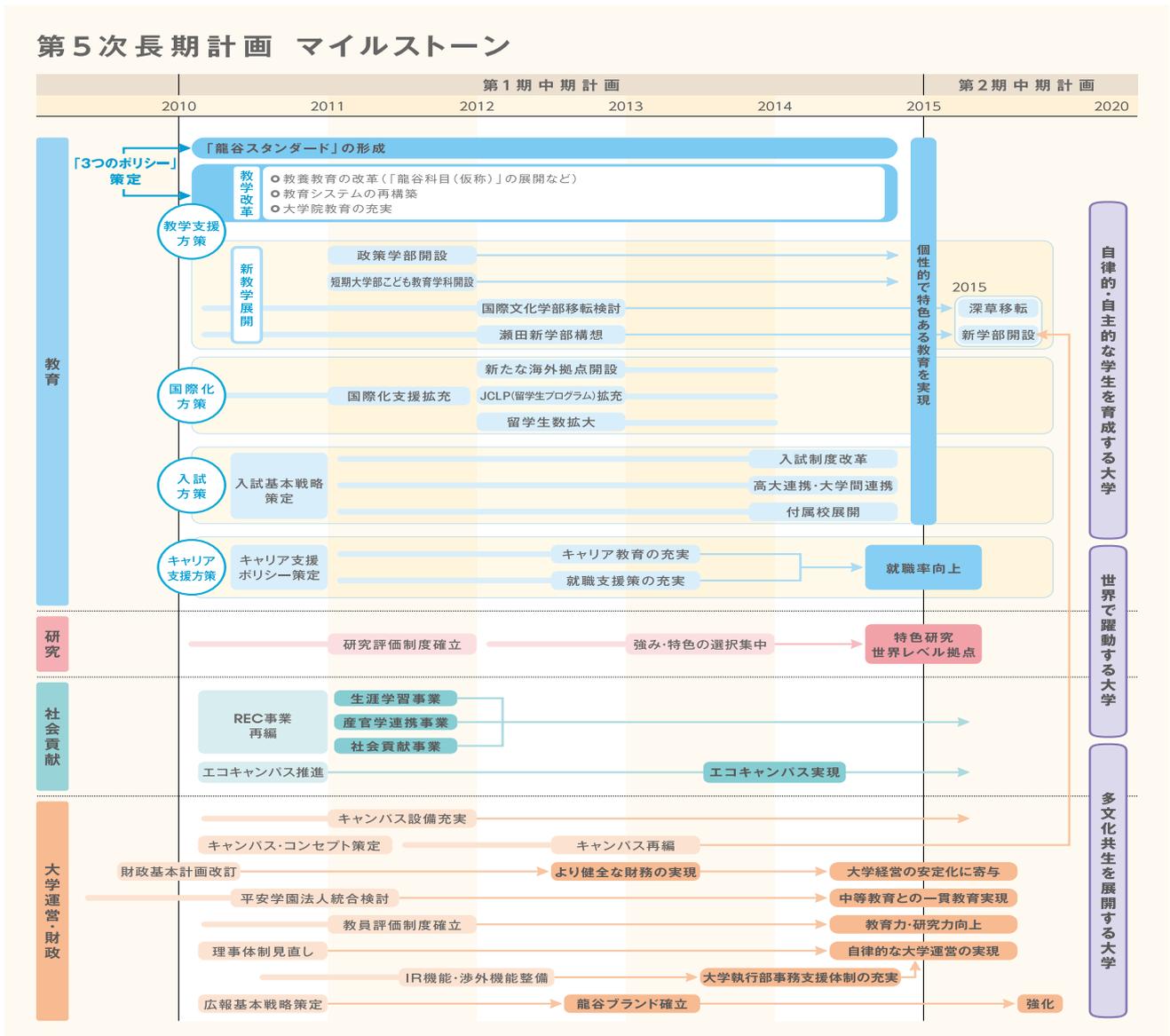
2010年度から展開する第5次長期計画（以下、「5長」という。）は、1期5年の中期計画を、その成果と課題、社会情勢や時代の変化を踏まえながら改善を図り、2期にわたって展開する中長期計画方式による展開を特徴としている。2012年度は事業3年目を迎え、前半期の第1期中期計画が折り返す年度であり、これまで2年間をかけて学内各部局で構想・検討してきた改革プランを全学的に展開し、その成果を具体的に創出していく年度に位置づけている。また、その改革成果が具体的に見える形で学内外に訴求していく。

- 教学組織の見直しと既存学部の教学改革・新学部創設
5長の重点課題として位置づける「国際文化学部の深草キャンパス移転」、並びに「瀬田新学部の設置」について、

従来までの検討内容を踏まえて、具体的な設置計画を取りまとめていく。

- 各キャンパスの拠点機能の充実強化
5長重点課題は、既存学部のキャンパス間移転や新たな分野の学部を設置することによって、キャンパス環境に大きな変化を与えることになる。このため、深草・瀬田・大宮キャンパスそれぞれの拠点機能の明確化と特色化を図り、その充実に努めていく。
- 後半期計画（第2期中期計画）に向けた展望の開始
2012年度は、第1期中期計画の折り返し年度になることから、2012年度を含め、5長事業を開始した2010年度から、これまで3年間の事業展開の実績と成果を踏まえ、また、社会からの要請や文教政策・外部環境の変化に鑑み、後半期計画の展開に向けた準備に着手する。

● 第5次長期計画検討項目一覧



2 文学部臨床心理学科・文学研究科臨床心理学専攻の開設

文学部哲学科教育学専攻・文学研究科教育学専攻において、長年に渡り教育の実績を積み重ねてきた「臨床心理学」という学問分野を、教学の柱のひとつとして位置づけるため、独立した学科・専攻とし、2012年4月に新たに文学部臨床心理学科・文学研究科臨床心理学専攻を設置する。

●臨床心理学科の教育目的

社会的に解決困難な心理的課題に対して、臨床心理学を基礎とした対人援助のためのコミュニケーション・スキルを身に付けることで具体的な解決のための方策を構築し、現代社会が抱える心理的課題に対応できる人材を養成することを目的とする。

●臨床心理学専攻修士課程の教育目的

建学の精神を持ちながら、近接する心理的支援の現場において共働的な臨床実践を実現するため、被支援者にかかわる人間関係を適切に把握し、高度な臨床心理学的専門性を発揮できる人材を養成することを目的とする。

●臨床心理学専攻博士課程の教育目的

建学の精神を持ちながら、修士課程での研究を進展させ、臨床心理学における社会的な要請に応えるための高度な研究に取り組み、臨床心理学における研究者としての人材を育成することを目的とする。

3 大学広報・ブランディング活動について

本学におけるブランディング活動については、第5次長期計画（5長）で掲げた2020年における龍谷大学の将来像の実現に向けて、本学がめざすべきブランドポジション及びコンセプトを策定し、ブランドの象徴となる新ロゴマーク等のブランドデザイン開発を進めている。

2012年度は、これらに基づき、新ブランドの浸透活動を開始する。ブランドの浸透は、事業実体を伴ってこそ社会的評価を形成できることから、5長をはじめとする諸施策・諸事業を推進することによって、新たな“龍谷ブランド”を発信していくこととする。浸透活動の推進は、大学執行部によるリーダーシップの下、本学構成員が主体となって全学を挙げて取り組み、本学の改革への期待感を社会的に一層高めるとともに、イメージの刷新を図る。

2011年度に実施したブランド環境の調査・分析において、本学は、さまざまな取り組みを展開しているものの、社会に向けて的確な発信が不十分であり、本学の社会的評価（イメージ）が一側面的なものに留まっているとの指摘があった。また、教職員の本学に対するイメージにも統一性がない等の課題が明らかとなった。これらの課題をクリアし、ブランドコンセプトを実現するため、ブランド浸透にあたっては、5長等の諸事業を通じて、本学の新たなイメージを社会に正しく伝え、評価される環境や仕組みを構築する施策を展開する。

4 学修プログラムの充実について

教育のさらなる充実を図るため、入学準備サポートやキャリア形成支援を目的とした、学修プログラムを展開する。

これまで専願入学試験合格者を対象に、主に学習の継続、学力維持を目的として、学習補完的な入学前教育を各学部

で実施してきた。2012年度はこれに加え、本学に入学することに自信と誇りを持たせ、本学が入学時に求める人物像に合う学生を育成するため、本学への帰属意識や適応度、学習意欲の向上といった態度形成を主眼とした全学共通の取組「入学準備サポートプログラム」をスクーリング形式で試行的に実施する。

また、学生のキャリア形成支援として、学生の一人ひとりの学ぶ意欲を喚起し、高い学習意欲と目的意識を持ち、明確な将来ビジョンが描けるよう、正課外におけるキャリア教育（キャリア・ガイダンス）の充実を図るとともに、正課におけるキャリア教育との連動を念頭に、学部との連携を強化していく。

●「入学準備サポートプログラム」の実施

「入学準備サポートプログラム」では、専願推薦入学者を対象に、在学生による大学生活等の紹介や各学部による学修内容等に関する説明をおこない、入学者が本学への理解を深め、大学生活への適応度を高める。また、入学者自身が感じている大学生活に対する期待や不安について、在学生ファシリテータを仲介とする意見交換をおこなうことで、学習意欲の向上といった態度形成を図る。さらに、本学ポータルサイトを利用して、入学者と連絡を取り合い、本プログラムによる効果を継続させるとともに、本学への帰属意識を高めることにつなげる。

●低年次におけるキャリア・ガイダンス等の充実

新入生オリエンテーション時のキャリア・ガイダンス（全学生対象）をはじめとして、正課外におけるキャリア教育（キャリア・ガイダンスやプログラム等）を展開するなどして、学生のキャリア形成に向けた支援を充実する。

●各学部の1年生対象の「入門演習・ゼミ」等との連携・協働

各学部が開講する1年生を対象とした「入門演習・ゼミ」等において、各学部の要請に応じてキャリア開発部スタッフが出向くなどして、各学部の特色やニーズを踏まえた上で、「キャリア意識の醸成」に向けたキャリア・ガイダンスをおこなう。

5 教育・研究環境の充実について

●深草学舎新棟の竣工

深草学舎新棟は、地下2階に学生食堂、地下1階から地上3階に講義室、地上4階に政策学部教員研究室及び大学



院政策学研究所共同研究室を配置する、地上4階地下2階（延床面積約15,000㎡ 2012年7月末竣工予定）の建物である。教育環境のさらなる充実、及び学生のキャンパスアメニティの充実に資する施設として2012年後期から使用を開始する。

● **深草学舎1号館の解体、及び深草学舎施設整備の推進**

1964（昭和39）年に竣工した深草学舎1号館は、老朽化が顕著になっているため、2012年後半に解体する。この1号館の跡地に整備する新棟（新1号館：仮称）の整備を含め、2011年度に設置した「深草キャンパス施設検討委員会」における検討を踏まえ、第5次長期計画に基づく諸事業の展開に資するべく、深草学舎における施設整備を推進する。

● **京阪電鉄・中書島駅から瀬田学舎間の路線バス運行**

これまで様々な形で瀬田学舎への通学環境改善策を講じてきたが、2012年度から3年間を試行期間として、京阪京都交通株式会社と連携し、京阪電鉄中書島駅から瀬田学舎間の路線バスの運行を開始する。このことによって、京阪沿線からの通学時間の短縮が図られ、利便性が向上するとともに、同地域からの新たな受験生の獲得にもつながるものと考えている。

● **情報教育環境**

2011年度に教育メールシステムとして導入したGmailの展開について、授業等におけるコラボレーションやコミュニケーションの新たな手段として活用できるGoogle CalendarやGoogle Document等の機能の提供を開始する予定である。また、WebシラバスやWeb履修登録等のWebサービスを向上させるためにシステムの更新をおこなう。これらの取り組みにより利用環境の充実を図り、学生の利便性向上に努めることとする。

